

みんなで作る

森ものがたい

2017年9月2日発行 第123号

油山自然観察の森
森を育てる会



〒811-1355
福岡市南区大字松原855-1
TEL:092-871-2112
FAX:092-801-8661
<http://www.morikai.org/>
mail: aburayama@morikai.org



<7/9 木工作業 「木っ端人と小枝の笛」>

◆	表紙	1
も	活動ノート(6/25,7/9,7/22・23、8/5、8/20)	2~4
く	特集「昆虫調査」	5~6
じ	情報コーナー	7
◆	リレーコラム「活動への思い」	8
	うん・えー会報告(6/25)	9
	活動予定	10

「森を育てる会」は福岡市油山自然観察の森の保全活動を通じ、広く緑地保全活動を行う市民の育成・交流を行う事を目的とする市民グループです。活動は(公財)福岡市緑のまちづくり協会の助成を受けて行っています。会では、随時、会員を募集しています。興味がある方はメールまたは電話でご連絡下さい。

活動ノート



6月25日(日)

備品管理

12:30~15:00



◆参加者：鎌田、林、川上、織田、国広 計5名

◆内容：梅雨入り後ようやく振り出した待望の雨ですが、今日は霧雨程度で支障なく活動出来ました。本日は、道具整備として①中厚鎌の研ぎ出し、②ナタノコの目立て、③ソウリンノコの刃替えを行いました。中厚鎌の研ぎ出しは、草丈が伸びる時期を迎え、この時期に行えて良かったです。ナタノコの目立ては、前回活動の安全講習会で外部講師の方のアドバイスもあり、初めてチャレンジしました。ネットの画像なども見ながら、倉庫に眠っていた道具を使い、挑戦しました。少しは、切れ味が良くなったのではないかと思います。その後、切れ味確認を兼ね



て材処理や櫓木切りに使用する“枕木”も作りました。少人数でしたが、参加されたみなさんの手際の良い作業で、予定の時間内に終わることが出来ました。今後も色々のご意見を頂きながら、工夫しつつより良い備品管理を行っていきたいと思います。

【ふりかえりより】

・ノコギリの刃の目立てをダイヤモンドシャープナーでチャレンジ。難しい、効果はさだかでは無い(織田)

・数量確認(木工道具等)と倉庫内の名板書替が出来た。(国広)

・ノコギリの目立てに挑戦しましたが、切れ味は今一。まだまだ修行は続きます。(鎌田)

7月9日(日)

木工作业と備品整備

9:30~15:00



◆参加者：鎌田、静間、管原、古寺(和、凧)計5名

◆内容：今日は、雨だったので、雨天バージョンで、木工「木っ端人と小枝の笛」と午後からは、道具の手入れ「ノコギリの目立てと鎌研ぎ」を行いました。初めに、今日の作業内容とスケジュールを説明し、レクチャールームにブルーシートを敷いて材料・道具を広げました。小枝の笛は、小枝に



穴を空けるだけの笛です。直径10ミリのドリルで吹き口、15ミリのドリルで胴体に穴をあけます。吹き口にやすり掛けをして完成です。木っ端人とは、手足の付いた木の人形です。①目、鼻の穴あけ、②ノコギリで口作り、③手・足作り、④手・足の穴あけ、⑤組み立て、⑥黒目の焼き入れの手順で行いました。午後は前回活動でやり残しのあった鎌研ぎとノコギリの目立てを行いました。次回の雨の日にも、参加して良かったと思われるメニューを考えますので皆さん雨の日も参加してくださいね。また、地下倉庫の木工の材料は腐朽しているのが多数あり、今後、材を整理して必要な太さの材料を揃える必要があると思います。

【ふりかえりより】

・マンツーマンでドリルの使い方から学ばせてもらいました。満足のいく作品ができ、また雨がふらないかな〜と秘かに思っています。(古寺)

・木工作りの初参加、本当であれば下草刈りであった。久し振りにドリル・鋸を使っての工作は非常に楽しかった。(管原)

・午後から晴れて残念！2年連続で作業が流れました。鎌を研いたので次の作業は楽？（静間）
7月22日(土)～23日(日)
カブトムシの森 昆虫調査
18:00～12:00



◆**参加者**：静間、川上家2、新牛込家4、富永誠、妹尾、杉尾家5名、古寺家2、織田、柏陵高校生徒4 計21名

◆**内容**：18時に集合し、みんなでバーベキューをした後、夜の昆虫観察をしながらカブ森へ向かい、休憩小屋到着後はセンター行事の一般参加者に交ざってライトトラップを行いました。20:30～22:00の1時間半で約20種類の昆虫を撮影&同定できました。21:45には22日のみ参加メンバーは帰宅の途に着きました。また、宿泊者は観察センターとバンガローに男女分かれ就寝時間としました。直前の天候は晴れ続きで月も小さかったのですが、昆虫の飛来が少なく、その分、種類も少なめでした。一般参加者は、あまり多くの昆虫は見られなかったのですが、皆さんそれぞれ楽しんで頂けたようです。また、一般宿泊者が8組ほど見学に訪れましたので、カブ森や森会の紹介と簡単なライトトラップの説明をおこないました。深夜は小藤先生と森会の大人3名でトラップの見張り番をしつつ目立った昆虫を朝のために

採り置きして34種類ほどを集めました。今年もカブトムシに関しては大漁でした。また、凶鑑にないカミキリムシ(マダラで細長く触覚の1～3節が短い)が見つかりましたが同定できず。他には、昨年まで数が減っていて希少になっていたスジクワガタ(小歯形&メス)が3頭見つかりました。2日目は朝5時30分スタート。高校生は、夜中に何度かトラップを見て来てオオミズアオと戯れていたこともあり、かなり眠そうでした。ここ数年の定番となっている明け方のミルンヤンマ捕獲にも無事成功しました。早朝の同定作業はほぼ終了(計42種)していたため、トラップの片付けを手伝い、



その後は予定時間通り朝食、みんなで具沢山うどんをすすりました。その後は2日目参加メンバーが合流し、トラップ回収とルート観察を行い、エアコンがきいた観察センターで同定作業に取り掛かりました。トラップは餌に加えた焼酎が効いたのか大漁でしたが、人数が多かったので、独特のにおいに悩ませられながらも、それほど時間もかからず同定終了し2日間合計で65種同定となりました。宿泊組は眠そうだったので帰りに居眠りしないように注意喚起して、予定より30分早い12時に解散しました。

【ふりかえりより】

・今日はカブト・クワガタを目的に参加しましたが、ライトトラッ

プに集まるたくさんの蛾たちの美しさに気づくことができ、コガネムシの種類の多さなど数多くの得るものがありとても充実した時間となりました(妹尾)
 ・初めてのライトトラップや昆虫観察でたくさんの虫を間近で見られてよかった(藤木)
 ・今回は多くの種類の昆虫がトラップで見つかった。ピットフォールトラップでもいままで見られなかった虫が見つかった。トラップではクワガタはいなかったがカブトは多かった(清成)

8月5日(土)
カブトムシの森 昆虫調査
せせらぎ調査
9:30～15:00



◆**参加者**：静間、松雪、新牛込家4、柏陵高校2、中嶋 合計10名
 体験参加：3名

◆**内容**：昆虫調査班6名とせせらぎ調査班3名とに分かれ活動を行いました。昆虫調査班は10時過ぎにセンターを出発。カブ森ではレアなウスバカミキリやスジクワガタのつがいなど色々な昆虫を採集しながら12時に観察小屋へ到着し不明昆虫の同定を行ったところで昼食。大人は休憩していましたが、暑い中でも子供たちは元気一杯にはしゃぎまわっていました。13時前には観察小屋を出発しトラップを回収しました。トラップにカブトムシなどが結構入っていたものの、ホイホ

イトラップ1個とピットフォールトラップは5個もトラップ荒らしにあっていました。その後はセンターで採集した昆虫を同定して予定通り15時に終了となりました。成果はやや少な目の36種となりましたが、体験参加のご一家には楽しんでいただけたようで何よりでした。一方、せせらぎ調査班はカブトムシの森の中を流れるせせらぎの調査を行いました。これは、伐採や除草の管理をしてきて遊歩道から川面が見えるようになったもので、子供たちに水生の生き物を見てもらう水辺整備計画のための調査です。午前中は川筋の形状を図面に落とし、午後は午前の続きと水深、溜まり、周辺の植生の状況、遊歩道からの寄り付きやすさなどを調べました。途中、昆虫調査と合流して水辺の生きもの観察も行いました。今後の展開にご期待ください。



【ふりかえりより】

- 前のトラップの時とは別の虫が入っていて、観察小屋まわりでも普段見慣れない虫を見ることができてよかった（藤木）
- カブ森B地区せせらぎ調査に参加。思っていたより水量もあり、小魚もたくさんいて、今後の整備が楽しみです（鎌田）
- トラップが荒らされていたことは残念でした。来年は何か対策をします（新牛込）

**8月20日（日）
活動説明会「木工教室」
インセクトホテルづくり
9：15～15：00**

◆参加者：鎌田、林、川上、橋本、古寺（凧、和）、松雪、静間、国広 計9名 一般参加 大人11名、子供10名

◆内容：今日は、一般の人を対象にした恒例の木工教室でしたが、今年は初めての企画として「インセクトホテル」作りに挑戦しました。観察センターで作品のイメージや作り方の説明があり、森会の紹介をした後、カブ森を散策しながら子供広場へ向かいました。ここで改めて実際の作業要領の説明や材料の配布を行い、一寸早い昼食タイムにして、12時過ぎから作業に取り掛かりました。広場に設営したテントの中や、休憩小屋の中で先ずは小屋組みから。ホテルの枠が出来上がったところに竹、丸太、ススキ、松ぼっくりなどを詰め込むのですが、意外と大量の材料が必要で、一杯にするのに四苦八苦。材料集めの為なら子供達も慣れないノコギリに果敢に挑戦、竹や丸太を切っていました。詰める丸太にドリルで穴を空けたり着色したり、屋根に絵を描いたりして個性豊かな楽しいホテルが出来上がってきました。森会では前日に大きな



ホテルの枠を作っていて、今日は詰め込みをするだけだったので、こちらもなかなか一杯にならず大変でした。それでも何とか全て完成させることが出来、今後は家に持ち帰ってホテルにムシが訪れてくれるのを待つことになります。森会のホテルは子供広場のフェンスに置いてあるので、機会があれば覗いてみて下さい。

【ふりかえりより】

- 参加された方々のホテルが完成してよかったです。そんなに動いていない割にはとても疲れしました。無事森会のホテルも完成して良かったです。（古寺凧）
- 昆虫ホテルと言う初めての作り物、参加者が元気に作業していたので見て、嬉しかったです。暑い中、皆様お疲れさまでした。（林）
- 子供たちが楽しそうに作業してくれたのが良かったです。みんな立派なインセクトホテル作り上げてくれました。（中嶋）



今年もとても暑い夏となりました！

7月は今年も小藤先生にご協力頂きました。

今年7月の昆虫調査では、例年通り夕方に集合し恒例のバーベQからスタートしました。

今回は柏陵高校生が4名参加と少なめで、昨年とは不足していた食べ物もすべて焼ききれずに翌朝へ持ち越しとなりました。

20:30にはカブ森へ移動して、小藤先生と合流しイベントの一般参加者に交じってライトトラップ。天気が良くやや明るかったこともあり、昆虫の数は少なめ、それでもミヤマカミキリやカブトムシなど大物はちらほら集まって来ていました。



今年もライトトラップは種類少なめ

今年月は小さく昨年よりも若干良い条件でしたが、最後まで昆虫はあまり増えず、同定数は昨年に及びませんでした。

代わりにカブ森へ探検に出かけて最近あまり見かけなくなっていたスジクワガタを複数発見することができました。

種類は少なめでしたが、ライトトラップの見張り番を残して宿泊者がそれぞれセンターやバンガローへ戻った後にはカブトムシの大型が続々と飛来しました。

宿泊後の早朝はヒグラシが鳴き始めるころに再度集合し、全員参加で同定を頑張って頂きました。

その後は朝食で前日の残ったお肉や野菜などを使った具沢山うどんを食べましたが、夜中に眠れずにトラップへ度々顔を出していた高校生男子はかなりのお疲れモードになっていました。

朝食後は当日参加者を待ってルート観察をしながらホイホイトラップとピットフォールトラップを回収しセンターで同定後、予定通り12時過ぎには解散となりました。



7月調査の成果 同定数：65種

8月調査はせせらぎ調査隊と一緒に

8月は体験参加のご家族といつものメンバーでルート観察とトラップ調査でした。

新たに発足したせせらぎ調査と合同開催です。

せせらぎ調査はカブ森の水辺の整備のための調査となります。

伐採や除草の管理をしてきて遊歩道から川面が見えるようになってきたため、子供たちにせせらぎの生きものも見てもらいたいということで計画されました。

今後の展開に期待です。



スジクワガタが再び増加している模様

普通に比べて昆虫の種類が少な目でしたが、それでも色々な昆虫が見つかりました。

その中でも7月に複数同定されていたスジクワガタが再び複数、しかもつがいで見つかるなどしました。

比較的新しい倒木が産卵場所となるクワガタ種のために、近年は伐倒した木をカブ森の中に残すなどしてきた成果が早くも表れたようです。

8月調査の成果 同定数：36種

今年の気温や天気について

今年は梅雨明けがはっきりしない年でしたが、気温についてはかなり高い日が続きました。

トラップの設置日以降の天気と気温は以下の通りでした。

期間中にほとんど雨が降らなかったのは初めてのことです。

7/17 (月) 晴れ	35/27 (最高/最低)	7/30 (日) 晴れ	34/27 (最高/最低)
7/18 (火) 曇り	34/28	7/31 (月) 晴れ	36/28
7/19 (水) 晴れ	33/26	8/1 (火) 晴れ	34/27
7/20 (木) 晴れ	33/26	8/2 (水) 晴れ	35/27
7/21 (金) 晴れ	36/27	8/3 (木) 晴れ	36/27
7/22 (土) 晴れ	36/28	8/4 (金) 晴れ	38/29

////////////////////最後に////////////////////////////////////

2005年から開始した甲虫調査は今年で13年目になりました。

2013度からは「昆虫調査」として装いも新たにカブ森の昆虫層を探り始めています。

まだまだ人員不足ですので昆虫に少しでも興味がある方はぜひ入会をご検討ください。

最後にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました！Special Thanks!

(文責：世話役 新牛込誠)

情報コーナー



■「秋の森のキノコ観察会」

内容：キノコの役割等を学び、秋の森でキノコ探し
日時：10月7日（土）10:00～13:00
費用：200円/人 対象：どなたでも（定員40人）
申込：ホームページ・往復はがき9/15必着

■「おとな自然講座～花の一眼撮影編～」

内容：秋の花を知り、一眼レフカメラで美しく撮影
日時：10月22日（日）10:00～15:00
費用：200円/人 対象：中学生以上（定員30人）
申込：ホームページ・往復はがき9/29必着
備考：一眼レフカメラ持参

■「紅葉にひたるかんさつハイキング」

内容：秋の草花などを観察しながら秋の森を散策
日時：11月12日（日）10:00～13:00
費用：200円/人 対象：どなたでも（定員50人）
申込：ホームページ・往復はがき10/20必着

■「かんむり輝くミヤマホオジロ観察会」

内容：野鳥観察ポイントを学び、野外で野鳥観察
日時：11月26日（日）9:30～13:00
費用：200円/人 対象：どなたでも（定員40人）
申込：ホームページ・往復はがき11/3必着

■「森のクリスマスリース作り」

内容：森で取ったツルに木の実を飾ってリース作り
日時：12月2日（土）10:00～13:00
費用：200円/人+200円/作品
対象：どなたでも（定員50人）
申込：ホームページ・往復はがき11/10必着

■「大草原の小さな野鳥観察会」

内容：牧場の草原を好む野鳥を観察
*集合・解散：もーもーらんど
日時：12月10日（日）9:30～13:00
費用：200円/人 対象：どなたでも（定員40人）
申込：ホームページ・往復はがき11/17必着
備考：双眼鏡・図鑑貸出有り

■「70才からのゆっくり登山」

内容：同世代のボランティアとゆっくり油山山頂へ
日時：12月16日（土）10:00～14:00
費用：200円/人 対象：70才位～（定員30人）
申込：ホームページ・往復はがき11/24必着

★申込み方法

①油山市民の森・自然観察の森ホームページの行事申込みメールフォームに必要事項を入力して送信してください。

②往復はがきに「行事名・実施日・参加者全員の氏名と年齢・代表者の住所と電話番号」を明記のうえ油山自然観察センターまでお送りください。

★お問合せ：油山自然観察センター

〒811-1355 福岡市南区大字松原 855-1

電話 092-871-2112

HP <http://www.shimi-mori.com>

2017 森の講座 『森を支える人びと』

～福岡県森林づくり活動公募事業～

■『屋久島にみる森と人のかかわり ～過去から未来へ～』(上映会+シンポジウム)

日時：10月18日（水）

第一部 16:00～17:30 上映会(無料)

DVD「屋久島の森に眠る人々の記憶」

第二部 18:30～20:30 シンポジウム

講師：柴崎茂光氏(国立歴史民俗博物館 准教授)

会場：福岡市中央区今泉 1-19-22 天神クラス 4階

あすみん セミナールーム

■『都市の若者が木こりになる！』(シンポジウム)

日時：11月2日（木）18:30～20:30

講師：佐藤大輔氏(佐藤林業代表)

会場：福岡市中央区天神 1丁目 11番 17号

福岡ビル 9F 1ホール

■『グリーンボランティア保険 20年にみる森林ボランティアの安全』(シンポジウム)

日時：11月29日(水) 18:30～20:30

講師：久保田繁男氏(NPO法人森づくりフォーラム理事)

会場：福岡市中央区今泉 1-19-22 天神クラス 4階

あすみん セミナールーム

★シンポジウム各回参加費：500円（学生無料）

上映会：無料 各回定員：60名

★主催：ふくおか森づくりネットワーク

★申込み・問い合わせ先

ふくおか森づくりネットワーク

TEL：080-6438-4268

森を育てる会 活動への思い

橋本敏徳

自宅の東側100メートルが油山の林縁でその奥に油山の森があります。朝の出勤時のバス停までの道のりは季節ごとの鳥の声を聴きながらの楽しい時間です。若い頃はこんなすばらしい環境と感じる余裕もなく、今考えるともったいなく感じます。

10年ほど前から登山が好きになり山に親しむようになりました。自然環境に興味を持ち始めたのは60歳の区切りに北海道の知床と釧路湿原のひとり旅に出かけたころからでした。知床五湖は環境省の利用調整地区で一日あたりの総利用者数や時間当たりの利用者数の制限がありまた事前にレクチャーを受ける必要がありました。ヒグマの活動時期でもあったのでネイチャーガイドさんの案内で原生林の散策ができました。おかげで5名のグループでのコース散策中は他の人にあうこともなく（ヒグマにも）静かに自然観察を楽しむことができました。

釧路湿原でもガイドさんと1日半かけて湿原の道や木道を歩いたり、カヌーで湿原の中に入ったりと自然を満喫できました。釧路市街から意外と近いにも関わらず自然が豊かでタンチョウやオジロワシも観察できました。

ガイドさんからは現地の自然環境（植生や野生動物など）のことをいろいろ聞いてそして自分の目で見れてとても刺激を受けました。自然環境の保護と利用のバランスについても考えさせられました。それからは登山するたびにこの行為が環境にどんな負荷を与えているのか考えてしまいます。と言っても登山道を外れないことやごみを残さないことぐらいしかできませんが・・・。

森会には2年前に入会しました。自然に関わるボランティアがないか探している時に油山の自然観察ハイキングに参加して会の存在を知りました。

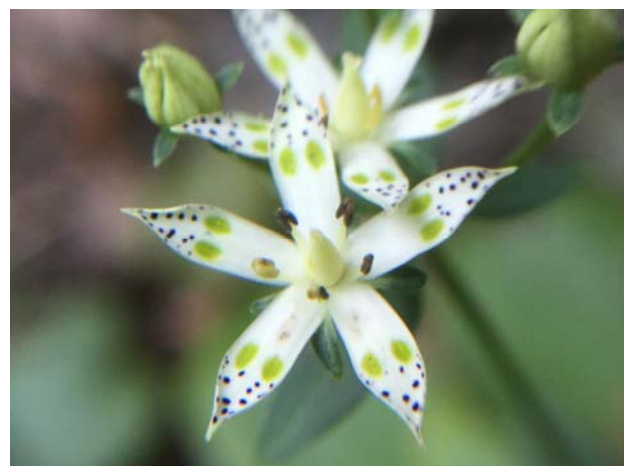
最初体験入会して初めて直径12センチのクヌギを受け口と追い口を作って伐ったことを思い出します。その時の切り欠きは今も机の上に飾っています。

しばらくは先輩たちに教えて頂いて除伐や草刈りなどに精を出していました。会に参加するたびに色々なことを教えて頂いて森林保全や動植物・昆虫のことが少し理解できるようになりました。ほんとにいろいろな知識や経験をもった先輩がいらして驚きました。作業や休憩時のちょっとした話でも「この話をまとめたらいい教材になるのになあ」と思います。もったいないです。

会の先輩や北海道で出会ったガイドさんもそうですが、自然や動植物に関する様々なことを人に伝えることができるのは素晴らしいことです。私も会の活動を通じて少しでも近づけたらと思います。

次号は川上さんをお願いします。

私のお気に入りの「アケボノソウ」
数年前くじゅうの「タデ原湿原」で初めて「アケボノソウ」を見て自然の造形美に感心し、すっかりお気に入りの植物になりました。
この植物が油山にないか探そうと似たような環境（湿った場所）をセンターの小川さんに聞いて探したところふくろう谷で見つけました。感動的でした。これで「くじゅう」まで行かなくても見れるようになりました。



油山のアケボノソウ

うん・えー会 報告

司会・板書：林、鎌田

出席者—川上、織田、榊、国広、小川（レンジャー） 計7名

2017. 6. 25
9:30—12:00

うん・えー会は会員ならどなたでも参加歓迎です。

1. 役割決定、資料確認

2. 4～6月活動報告

(詳細は、会報第122号参照)

4/9(日) アカマツ林・除間伐(松雪)

4/16(日) カブ森・除伐(静岡)
植生調査(鎌田)

5/7(日) アカマツ林・除間伐
シダ、萌芽枝刈り(松雪)

5/28(日) カブ森・草刈り(静岡)

6/18(日) 安全講習会(鎌田)
柏陵高校生の参加が多かった。

小森講師(山村塾)感想

☆良かった事

- ・役割分担がはっきりしていた。
- ・道具の手入れをしっかりとっていた。
- ・準備、片付け等運営が良かった。

★気になった事

- ・通行人が多く、危険を感じた。
→立て看板の設置、伐倒時は人を配置する等を検討する。
- ・枝葉の片付けは目立たない場所なら大きく切っても良いのでは。
→現在の森会の処理方法のままとする。
- ・講習の受講者が明確ではなかった。
→春に新人対象の講習会を行い、安全講習会は全員対象とする。
- ・電線に掛かる杉の伐採は電線を切る恐れがある

→センターから九電に相談してもらおう。
- ・伐採用クサビは、もう一段薄いものを準備したほうがよい。
→購入する。

3. 4～6月 特別活動・対外支援活動報告

4/12(水)

特別活動

アカマツ森・材処理、階段補修(松雪)

4. 7～9月活動予定(詳細は会報123号参照)

7/9(日) カブ森作業(静岡)

7/22(土)～23(日)

カブ森・昆虫調査(新牛込)

8/5(日) カブ森・昆虫調査(新牛込)

8/20(日) 活動説明会(小川)

木工教室(鎌田)

◎作るもの「インセクト ホテル(虫の宿)」

- ・参加者用の素材はセンター準備。
- ・森会の案も検討する。
- ・持ち帰りを原則とするが園内設置も可とする。

5. その他

①2017年度会員登録状況(鎌田)

→32所帯、54名

②2016年度決算報告(榊)

→承認

③2017年度予算案(榊)

→新規購入

刈込鋏2本、根切り鋏2本、クサビ(薄)

→更新

デジカメ

④センター連絡事項(小川)

→通行証は、裏面を良く見て利用する事

6. 発送作業

①会報第122号

②安全講習会資料(不参加者へ同封)

6/25(日) うんえー会(林)備品管理(国広)

中厚鎌10本、ナタ鋸5本を研いだ。

ゾウリン鋸1本の刃を交換した。

丸太切り用枕を作った。(7個)



